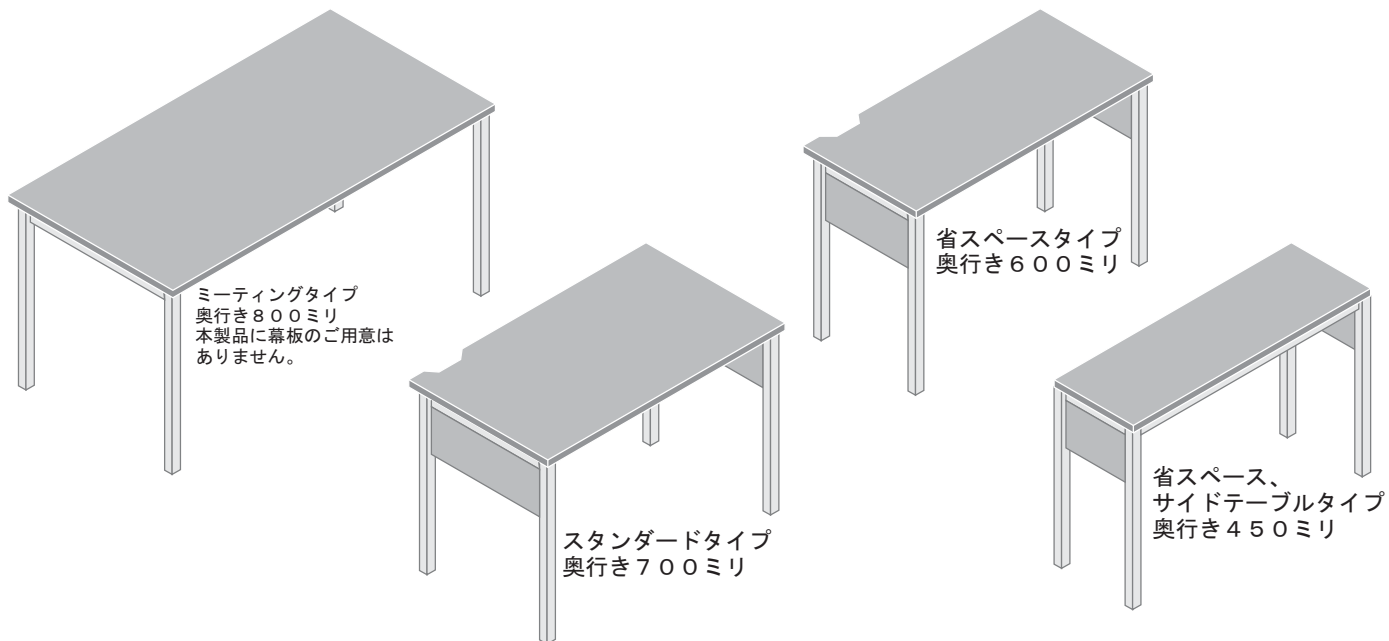


Y2テーブル 幕板 取扱説明書

Y2-147, 127, 107, 186, 146, 126, 106, 124, 104M
415-836/837/838/843/844/839/840/376/377

20080326

この度は当社製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
お読みになったあとは、大切に保管してください。



警告 ●積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをすることがあります。
●廃棄するときは購入店にご相談ください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。



注意 ●火のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
●天板の外周に片寄って重いものをのせしないでください。倒れてケガをすることがあります。
●天板に60kg（等分布加重）以上のものをのせしないでください。天板が破損してケガをすることがあります。
●天板ののったり、腰掛けたりしないでください。倒れてケガをすることがあります。
●各部のネジ類がゆるんだまま使用せず、増し締めしてください。破損や倒れてケガをすることがあります。
●異常を発見したらそのまま使用せず、購入店にご相談ください。
●用途以外に使用しないでください。事故やケガをすることがあります。

■一般のご注意

- ・直射日光や熱、冷暖房器具の強風を直接当てないでください。ゆがみや変色の原因となります。
- ・移動するときは2人以上で持ち上げて行ってください。引きずると破損したり床面を傷つけることがあります。
- ・高熱の物を直接棚板等の上に置かないでください。表面材が変色したり、剥がれることがあります。
- ・天板の上に水などをこぼしたら、直ちに拭き取ってください。放っておきますと表面材が変色したり剥がれたりすることがあります。

- 塗装製品について
本製品の天板、幕板は、ウレタン塗装仕上げになっております。ご使用上、以下の点にご注意をお願い致します。
- 1. ボールペンなど高硬度の筆記具で、下敷き無しで筆記した場合、天板面に凹みが発生する場合があります。（天板表面硬度は、鉛筆硬度で「H」同等）
- 2. 天板小口（垂直）面には、塗料の染み込み具合に、多少のムラがでる場合があります。また、天面より表面硬度が低いので、イスの背、肘掛けの衝突による凹みが発生する場合があります。

品質表示

■外形寸法：（背側幕板部品サイズ）

品番	幅	奥行	高さ	単位
Y2-147M	1326	18	200	(mm)
Y2-127M	1126	18	200	(mm)
Y2-107M	926	18	200	(mm)
Y2-186M	1726	18	200	(mm)
Y2-146M	1326	18	200	(mm)
Y2-126M	1126	18	200	(mm)
Y2-106M	926	18	200	(mm)
Y2-124M	1126	18	200	(mm)
Y2-104M	926	18	200	(mm)

- 幕板の表面材：プリント紙化粧繊維板
- 幕板部表面加工：ウレタン樹脂塗装
- 取り扱い上の注意
：直射日光、または暖房器具などの熱を避けてください。
- 表示者：プラス株式会社 ガラージュ事業部
東京都千代田区三番町6番地14

MADE IN TAIWAN



お手入れ方法

1. 汚れを落とす場合は、から拭きするか、ぬらして固く絞った布などで拭いてください。
2. 汚れのひどい場合には薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後ぬらして固く絞った布などで拭いて、洗剤を完全に取り除いてください。
※シンナー、アルコール類は使用しないでください。



お問い合わせ先 製品に関するご質問は、ご購入店・または下記のお問い合わせセンターにお寄せください。

ガラージュお客様センター／Tel. 0120-331-753（9:00～18:00 日曜祝日、年末年始を除く）

Y2テーブル 幕板 組立説明書

Y2-147, 127, 107, 186, 146, 126, 106, 124, 104M
415-836/837/838/843/844/839/840/376/377

20080326

組み立ての前に必ずお読みください。不適切な組み立ては事故につながる恐れがあります。
必ず2人以上で組み立ててください。
梱包を開封する際は、カッターなどで本体をキズつけないよう十分ご注意ください。

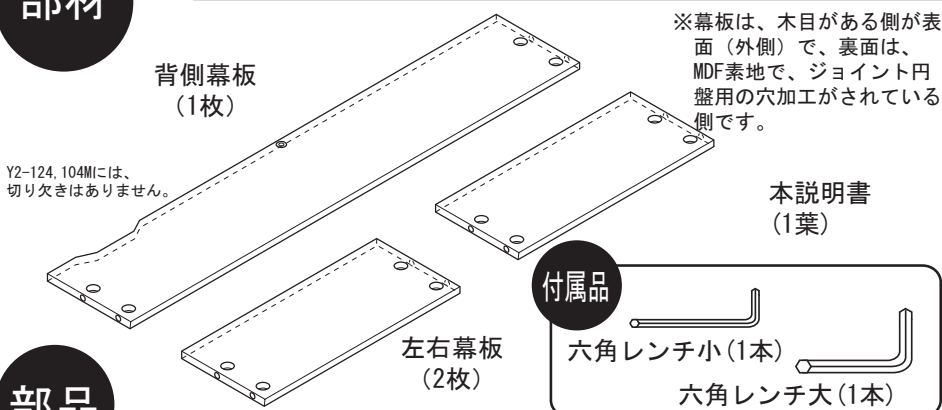


- 工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- 組み立ての際は、お子さまに注意し、広い場所で行ってください。
- 組立説明書に従って組み立ててください。組立手順を間違えると組立たない場合があります。
- 組立手順に従い、はめ込む部分は確実にはめ込んでください。不十分ですと使用中に商品が破損しケガをする恐れがあります。
- 組立手順に従い、ネジなどで確実に組み立ててください。不十分ですと使用中に商品が破損しケガをする恐れがあります。
- 組み立ての際、製品および床などをキズつけないようご注意ください。

最初に必要なパーツがそろっているか確認してください

部材

似ている部材・部品でも左右・上下で異なる場合がありますのでご注意ください。



工具 お客様にご用意頂くもの
特に必要ありません。
(付属工具にて組立ができます)
既に、組立済みのテーブルに
取り付ける場合は、
テーブルに付属の工具があれば、
ご用意ください。

その他 段ボール・毛布など
作業する場所に敷くもの
(部材や床のキズ防止のため)

部品

	Y2-147M 415-836	Y2-127M 415-837	Y2-107M 415-838	Y2-186M 415-843	Y2-146M 415-844	Y2-126M 415-839	Y2-106M 415-840	Y2-124M 415-376	Y2-104M 415-377
ジョイント円盤	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2
ジョイントピン	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2
ジョイント円盤用キャップ	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2
幕板取付用ネジ (M6×15)	3	3	3	3	3	3	3	3	3
幕板取付金具	1	1	1	1	1	1	1	1	1

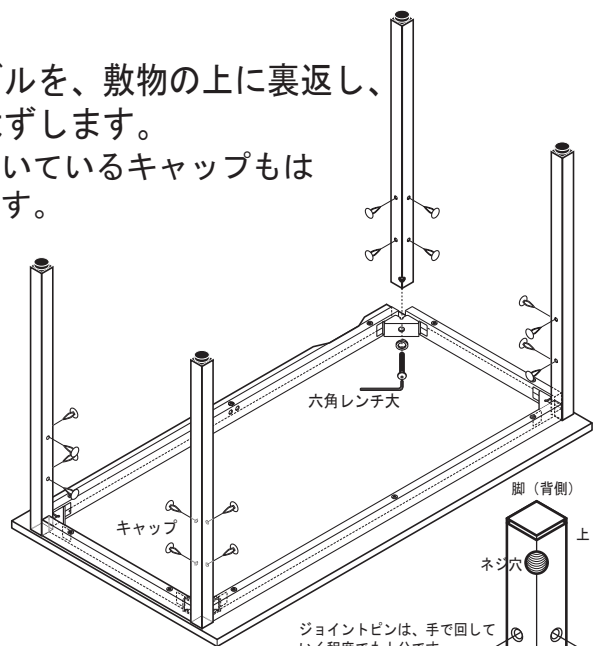
幕板付デスクの商品コード	Y2-147HM 415-729	Y2-127HM 415-730	Y2-107HM 415-731	Y2-186HM 415-736	Y2-146HM 415-737	Y2-126HM 415-732	Y2-106HM 415-733	Y2124HM 415-734	Y2-104HM 415-735
天板の商品コード	415-873	415-425	415-875	415-878	415-879	415-876	415-877	415-426	415-427
脚の商品コード	415-380	415-428	415-381	415-884	415-885	415-382	415-383	415-429	415-430
幕板の商品コード	415-836	415-837	415-838	415-843	415-844	415-839	415-840	415-376	415-377

既に組み上がったテーブルに、幕板を取り付ける場合。

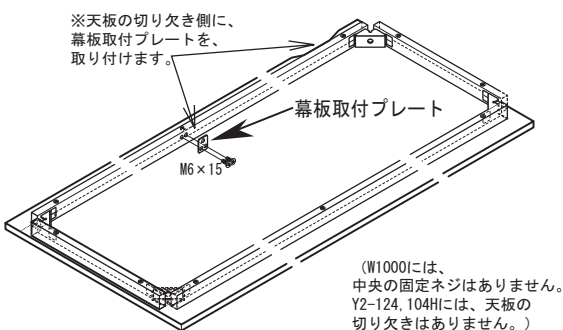


敷物を敷いてください。
六角レンチ大
六角レンチ小

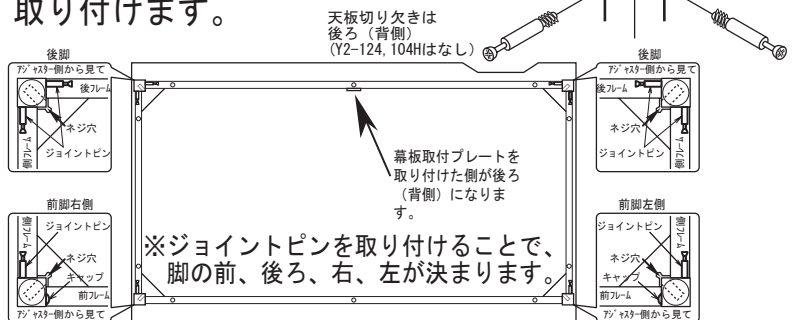
1 テーブルを、敷物の上に裏返し、脚をはずします。
脚に付いているキャップもはずします。



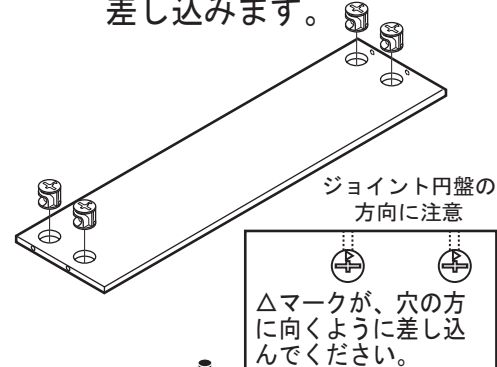
2 幕板取付プレートを、前後フレームに取り付けます。



3 脚にジョイントピンを取り付けます。

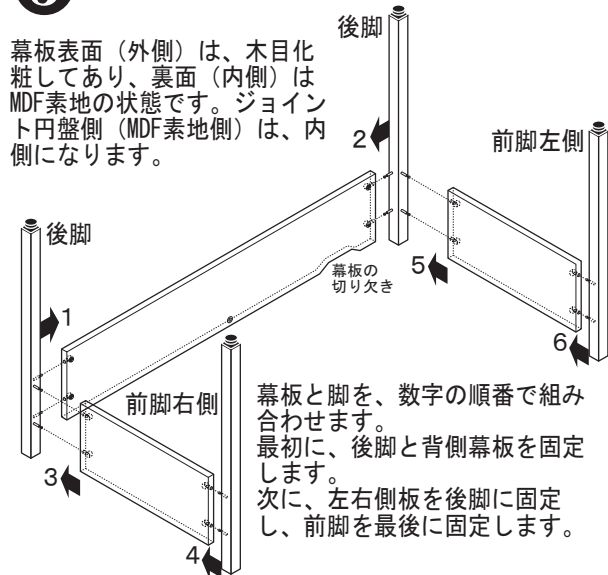


4 幕板にジョイント円盤を差し込みます。

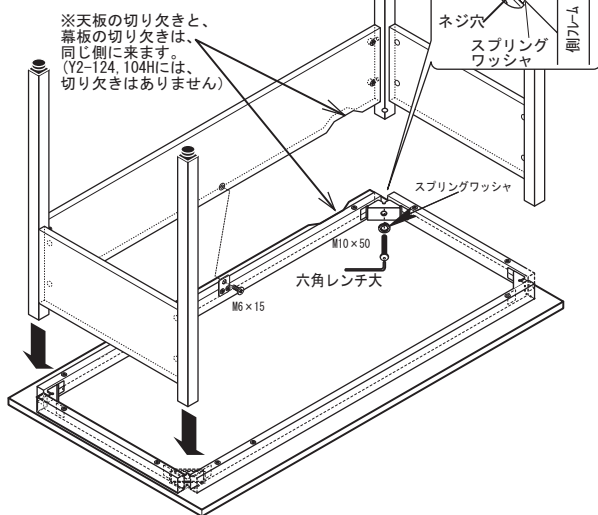


5 幕板と脚を組み合わせます。

幕板表面(外側)は、木目化粧しており、裏面(内側)はMDF素地の状態です。ジョイント円盤側(MDF素地側)は、内側になります。



6 天板と幕板、脚を組み合わせます。



7 設置場所に置き、アジャスターの調整をし、ガタツキがないか確認してから、使用してください。本製品は、アジャスターの調整が不十分な場合、ガタツキがでて、本来の特性を出せません。天板上方向から体重を掛け、左右前後に揺すったとき、脚がずれる場合は、その脚のアジャスター調整が必要です。

20100121

テーブルの組み立てと一緒に、幕板を取り付ける場合。



敷物を敷いてください。
六角レンチ大
六角レンチ小

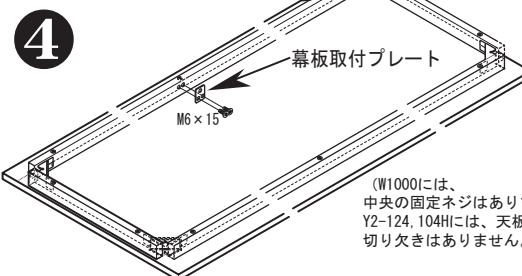
テーブルの組立説明書をご覧ください、**1****2**まで進みます。

1 天板を裏返し、前後フレーム、側フレームを取り付けます。

2 脚ジョイント金具を、フレーム内側の四角い穴に差し入れます。

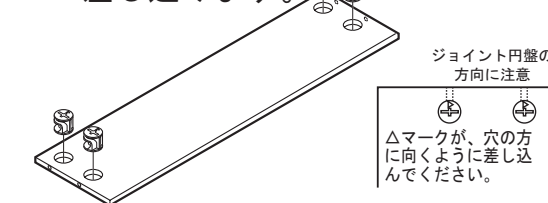
3 幕板を取り付ける前に、前後フレーム、側フレームを締め付けます。(本締め)

※各ネジは、脚、脚ジョイント金具の合わせを見ながら、各ネジを徐々に均等に締めてください。(1カ所を一度に締めず、全てのネジをまんべんなく、締めてください。)
※幕板を取り付けた後では、本ネジは締められなくなります。



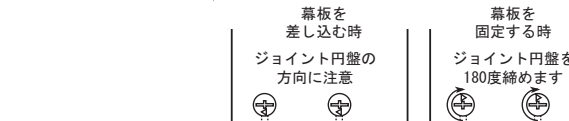
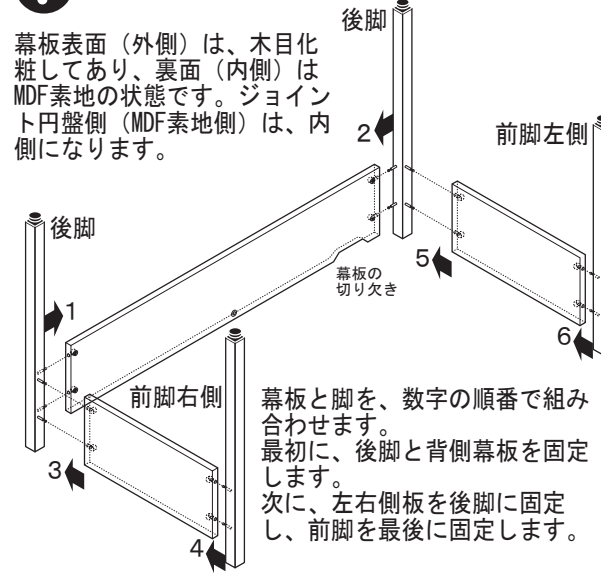
4 幕板取付プレートを、前後フレームに取り付けます。

6 幕板にジョイント円盤を差し込みます。



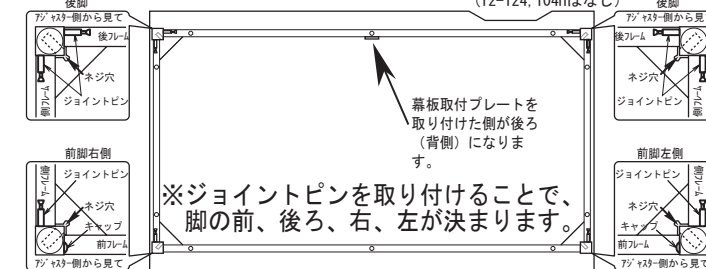
7 幕板と脚を組み合わせます。

幕板表面(外側)は、木目化粧しており、裏面(内側)はMDF素地の状態です。ジョイント円盤側(MDF素地側)は、内側になります。



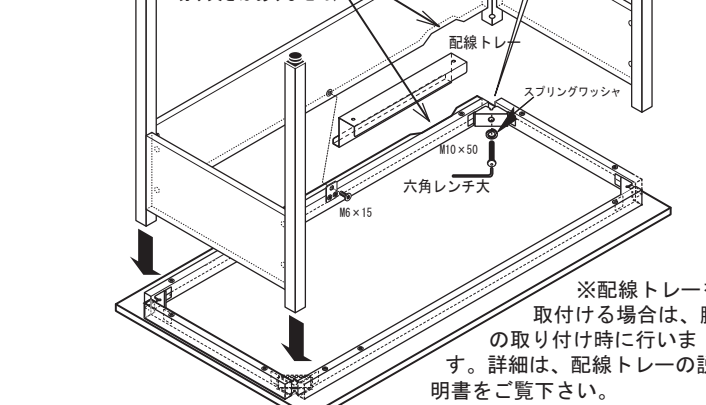
5 脚にジョイントピンを取り付けます。

ジョイントピンは、手で回していく程度でも十分です。



8 天板と幕板、脚を組み合わせます。

※天板の切り欠きと、幕板の切り欠きは、同じ側に来ます。(Y2-124, 104HIには、切り欠きはありません)



9 設置場所に置き、アジャスターの調整をし、ガタツキがないか確認してから、使用してください。

本製品は、アジャスターの調整が不十分な場合、ガタツキがでて、本来の特性を出せません。天板上方向から体重を掛け、左右前後に揺すったとき、脚がずれる場合は、その脚のアジャスター調整が必要です。